

J R 曾根駅周辺整備に関する地元説明会

日 時：令和 7 年 6 月 2 日(月) 午後 7 時 0 0 分～

場 所：阿弥陀地域交流センター 2 階 多目的ホール

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 J R 曾根駅周辺整備の現状と今後の取り組みについて
- 4 質問・意見
- 5 閉 会

J R 曾根駅周辺整備に係る主な経過

年 度	内 容
昭和 6 2 年度	阿弥陀町連合自治会から陳情書の提出 (J R 曾根駅周辺整備計画)
平成 元 年度	J R 曾根駅周辺整備推進委員会が発足 (駅北周辺の段階的整備、貨物ヤード敷地の確保、南側からの連絡道)
平成 2 年度	高砂市連合自治会から要望書の提出 (J R 曾根駅周辺整備の推進、南口の開設)
平成 6 年度	阿弥陀町連合自治会から要望書の提出 (J R 曾根駅付近の整備事業の推進)
平成 7 年度	阿弥陀町連合自治会から要望書の提出 (市の北西の玄関にふさわしい開発計画の立案の要望)
平成 1 3 年度	地元自治会 1, 7 2 7 名から陳情書の提出 (J R 曾根駅に住民が安全で便利に乗降できる環境整備を要望する陳情)
平成 2 1 年度	第 1 回 J R 曾根駅周辺整備推進委員意見交換会 (令和 4 年までで計 1 5 回開催。以降は、まちづくり協議会に移行)
平成 2 9 年度	駅周辺道路整備工事 (南池・時光寺準幹線道路)
令和元年度 (平成 3 1 年度)	駅前広場整備工事 (北側のロータリーや駐輪場など)
令和 2 年度	J R 曾根駅南基本調査業務委託 (南口整備に向けて、 J R 協議資料の作成)
令和 3 年度	J R と協議 (南口整備に向けて、 J R と事前協議)
令和 4 年度	J R 曾根駅周辺基本計画策定業務委託 (南口整備工法の検討、 J R と計画協議)
令和 5 年度	J R 曾根駅自由通路等基本設計業務委託 (自由通路や南側駅前広場等の基本設計、 J R と実施協議) 用地測量業務委託及び物件調査業務委託 (南側駅前広場整備に必要な事業用地を取得するための調査)
令和 6 年度	J R 西日本と「自由通路等整備及び駅舎橋上化に関する基本協定」の締結【6 月 18 日】 J R 曾根駅自由通路等詳細設計業務委託 (J R 委託) 春日野・牛谷準幹線道路等詳細設計業務委託 (駅前広場含む) 用地測量業務委託及び物件調査業務委託 (駅構内 J R 施設分含む) J R 曾根駅周辺地区まちづくり計画策定業務委託 用地買収及び物件補償
令和 7 年度 (予定)	J R 曾根駅自由通路等設計工事委託 (J R 委託) J R 曾根駅周辺地区まちづくり計画策定業務委託 J R 曾根駅周辺道路整備工事 用地買収及び物件補償

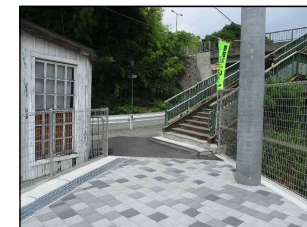
第12回JR曾根駅周辺整備推進委員意見交換会（令和元年5月31日）要望事項

計画平面図(案)
縮尺：1/300 (A1) 1/600 (A3)

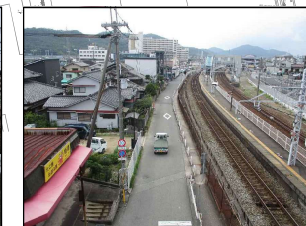
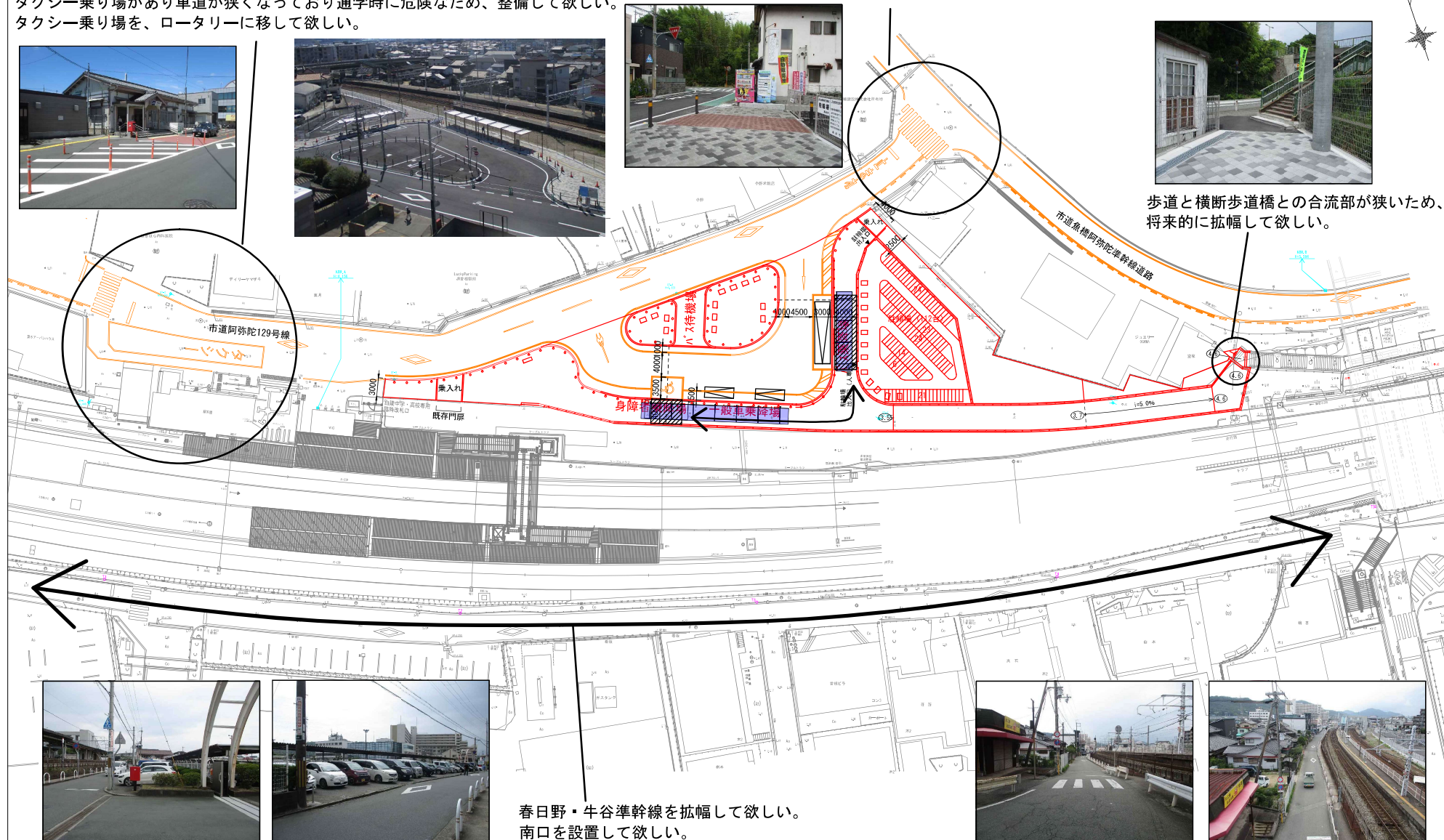
隅切り部を拡幅して欲しい。

駐輪場入口付近が混雑するため、対策して欲しい。

タクシー乗り場があり車道が狭くなっており通学時に危険なため、整備して欲しい。
タクシー乗り場を、ロータリーに移して欲しい。



歩道と横断歩道橋との合流部が狭いため、将来的に拡幅して欲しい。



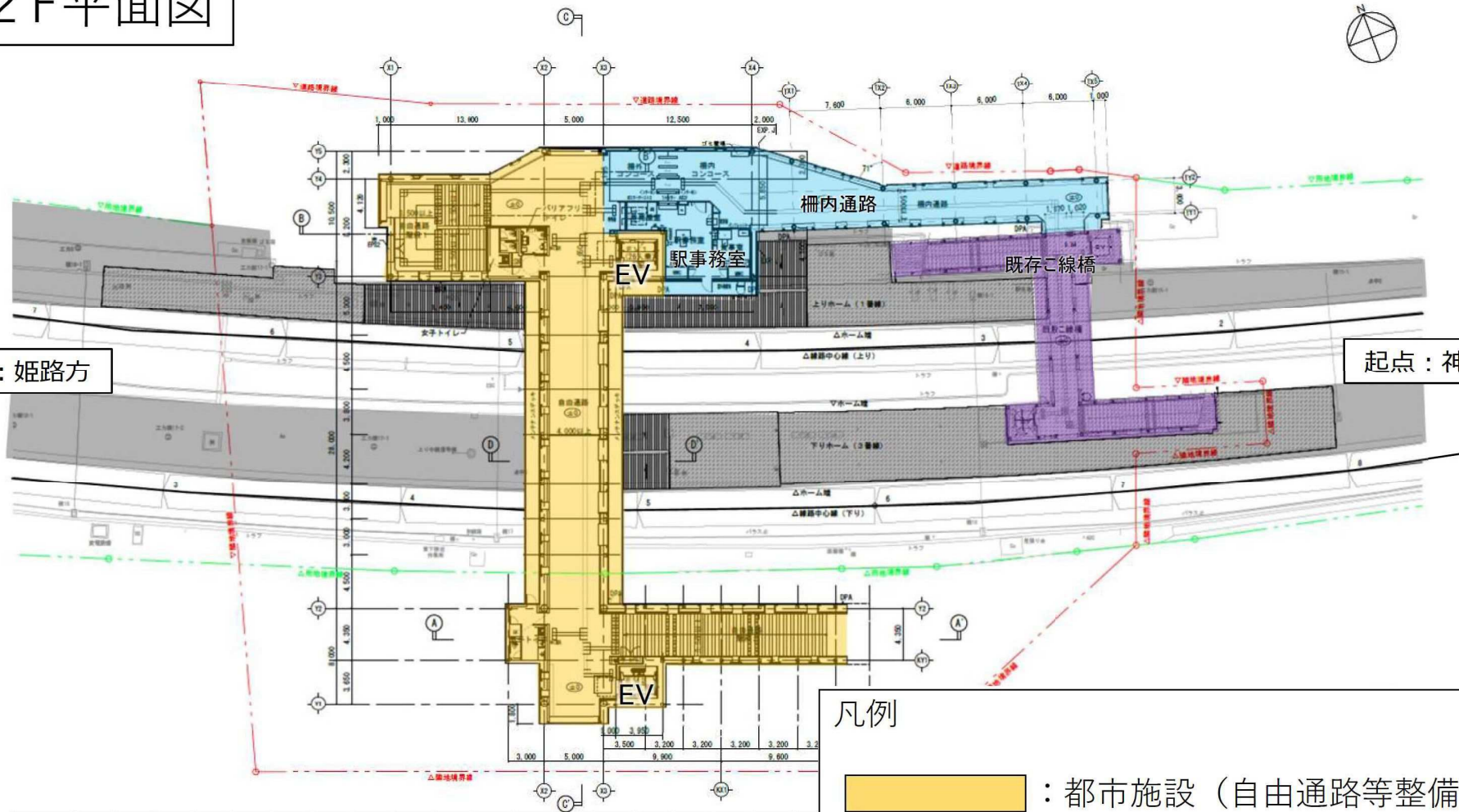
JR神戸線曽根駅自由通路等整備及び駅舎橋上化に関する基本協定書

2F平面図

4

終点：姫路方

起点：神戸方



凡例

都市施設（自由通路等整備）

鉄道施設（駅舎橋上化）

【北側現況】

停車台数

身障者用 1	タクシー 3
一般 2	バス 2



タクシーのりば

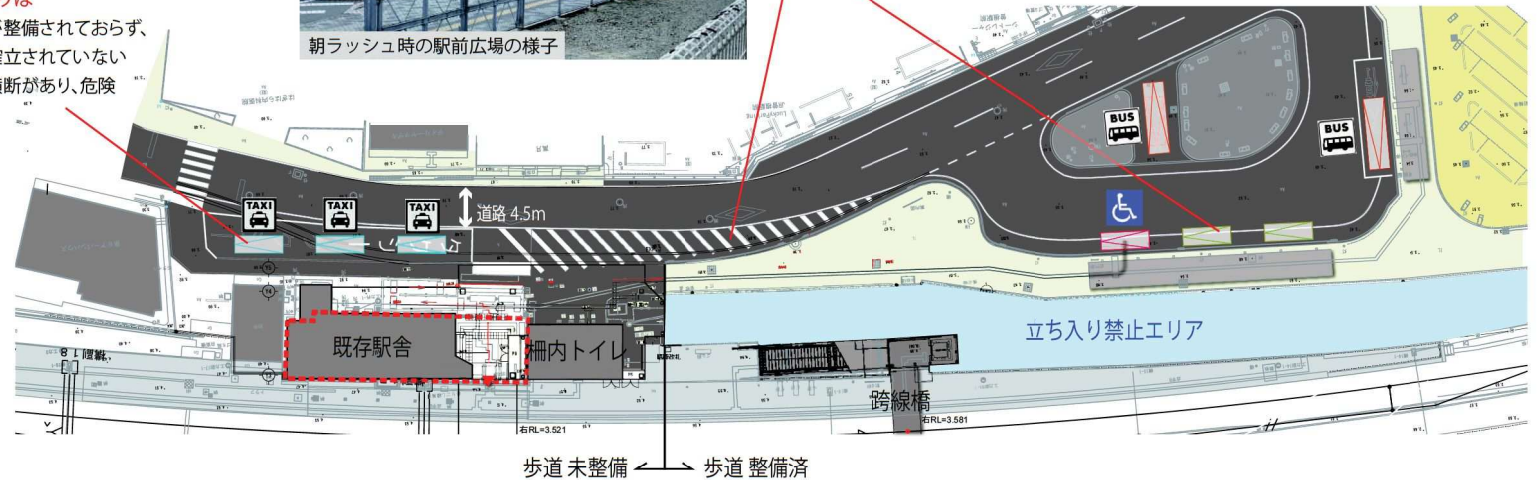
駅前の歩道が整備されておらず、歩車分離が確立されていない歩行者の乱横断があり、危険



朝ラッシュ時の駅前広場の様子

駅前広場

ロータリー内に一般車の乗降場があるが、駅舎と広場が遠いため、駅近くに停車する車が多くみられる朝ラッシュ時は交通渋滞が発生する



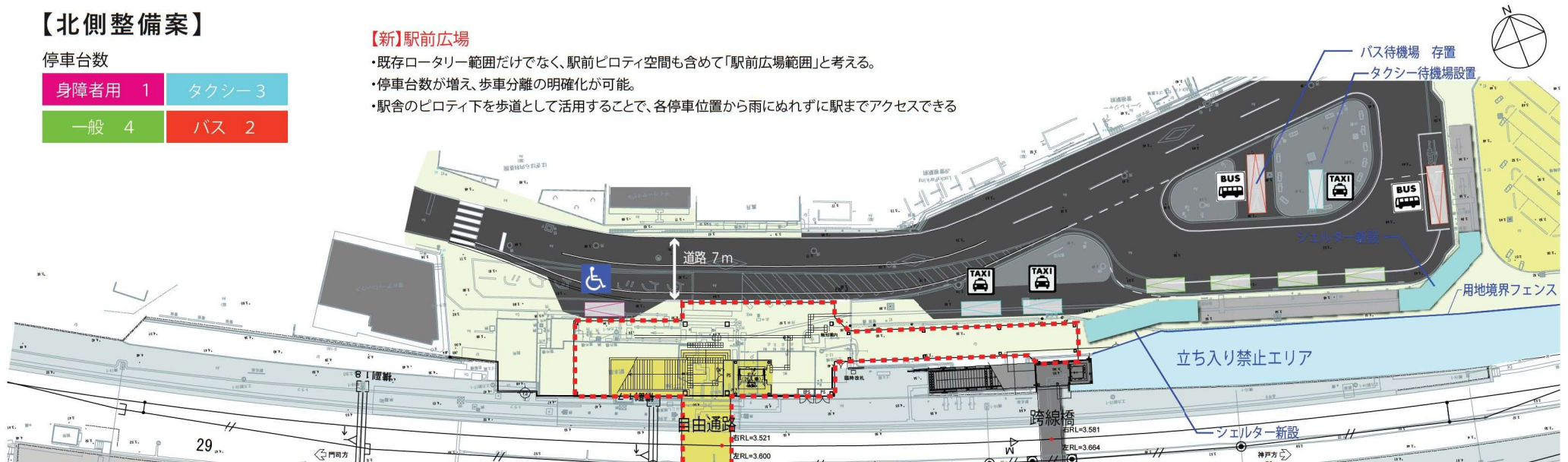
【北側整備案】

停車台数

身障者用 1	タクシー 3
一般 4	バス 2

【新】駅前広場

- 既存ロータリー範囲だけでなく、駅前ピロティ空間も含めて「駅前広場範囲」と考える。
- 停車台数が増え、歩車分離の明確化が可能。
- 駅舎のピロティ下を歩道として活用することで、各停車位置から雨にぬれずに駅までアクセスできる



北側整備案

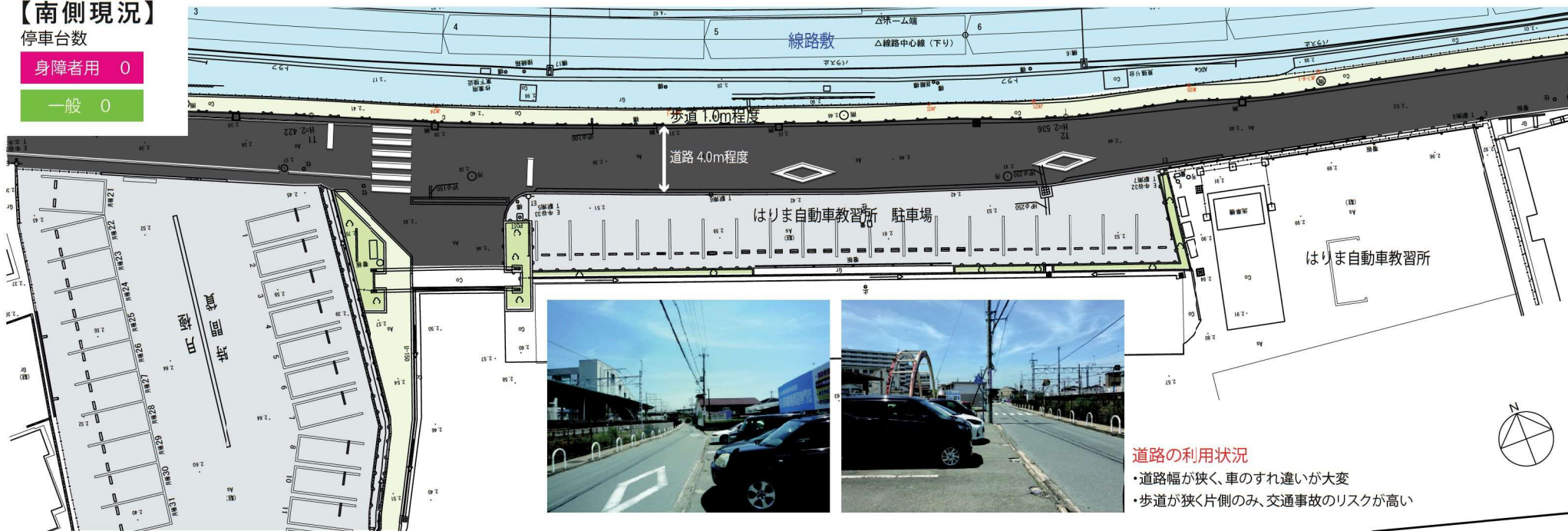


【南側現況】

停車台数

身障者用 0

一般 0



道路の利用状況

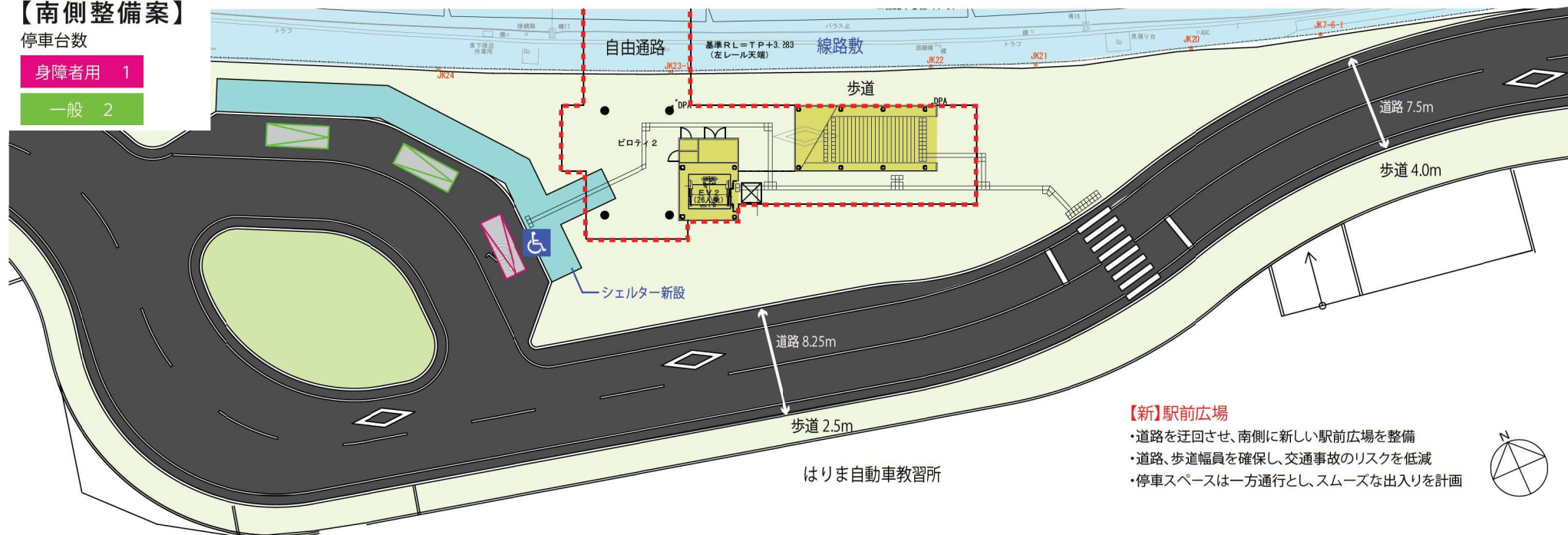
- ・道路幅が狭く、車のすれ違いが大変
- ・歩道が狭く片側のみ、交通事故のリスクが高い

【南側整備案】

停車台数

身障者用 1

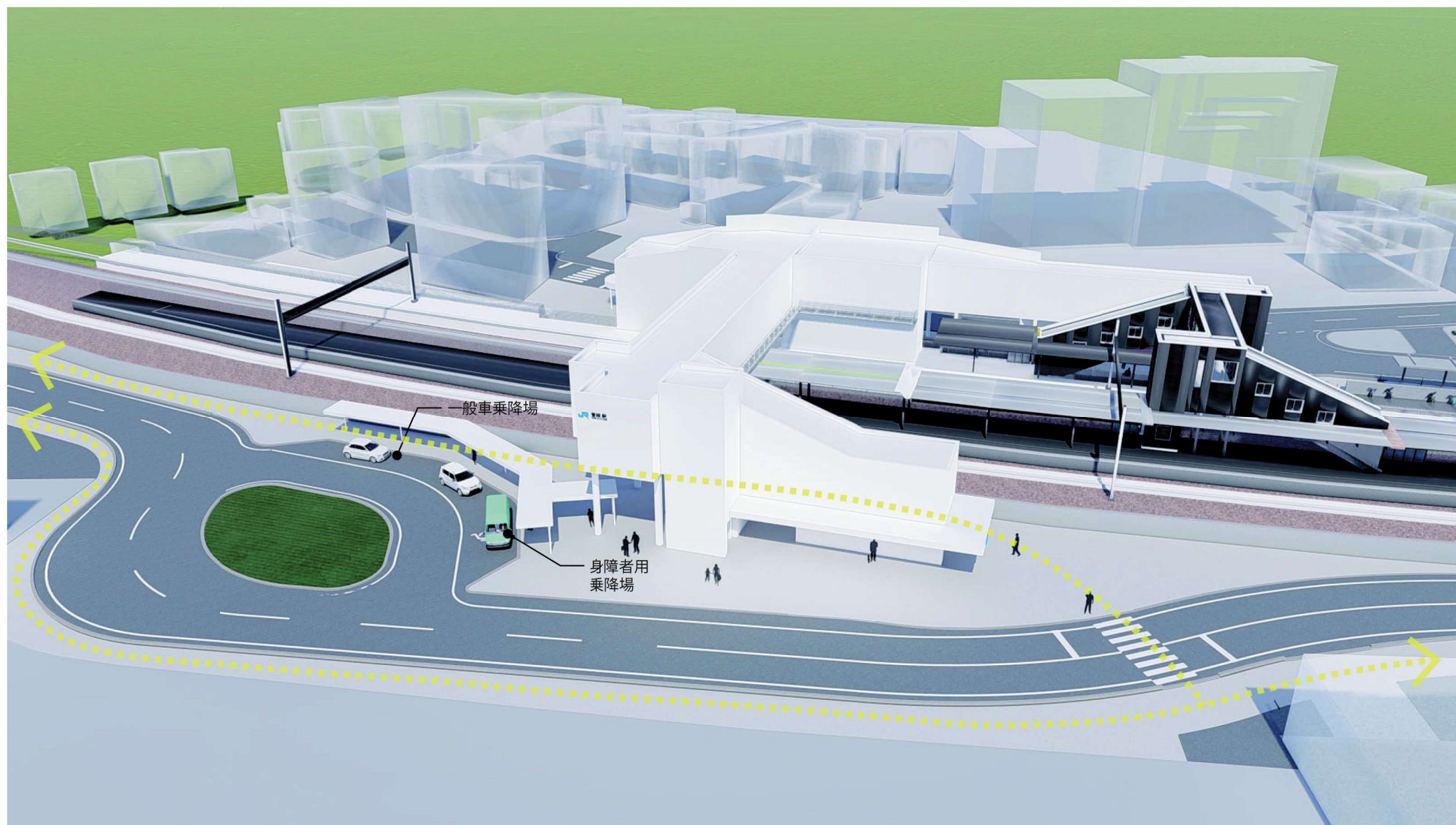
一般 2



【新】駅前広場

- ・道路を迂回させ、南側に新しい駅前広場を整備
- ・道路、歩道幅員を確保し、交通事故のリスクを低減
- ・停車スペースは一方通行とし、スムーズな出入りを計画

南側整備案



相生結び案

取扱注意 ※パースはイメージで、最終形のものではありません。

高砂市＝「結びのまち」であることから相生結びを連想し、モチーフとした案。

水引のおめでたい色とされる金と銀を**相生結びをモチーフとした壁や庇**にあしらい、さまざまな駅ボリュームのハコをひとつに結んでいる。

北側外観



柵内通路下ピロティ



自由通路



南側外観



北側鳥瞰



自由通路及び橋上駅（2階改札口）



J R 曾根駅自由通路及び橋上駅 イメージパース

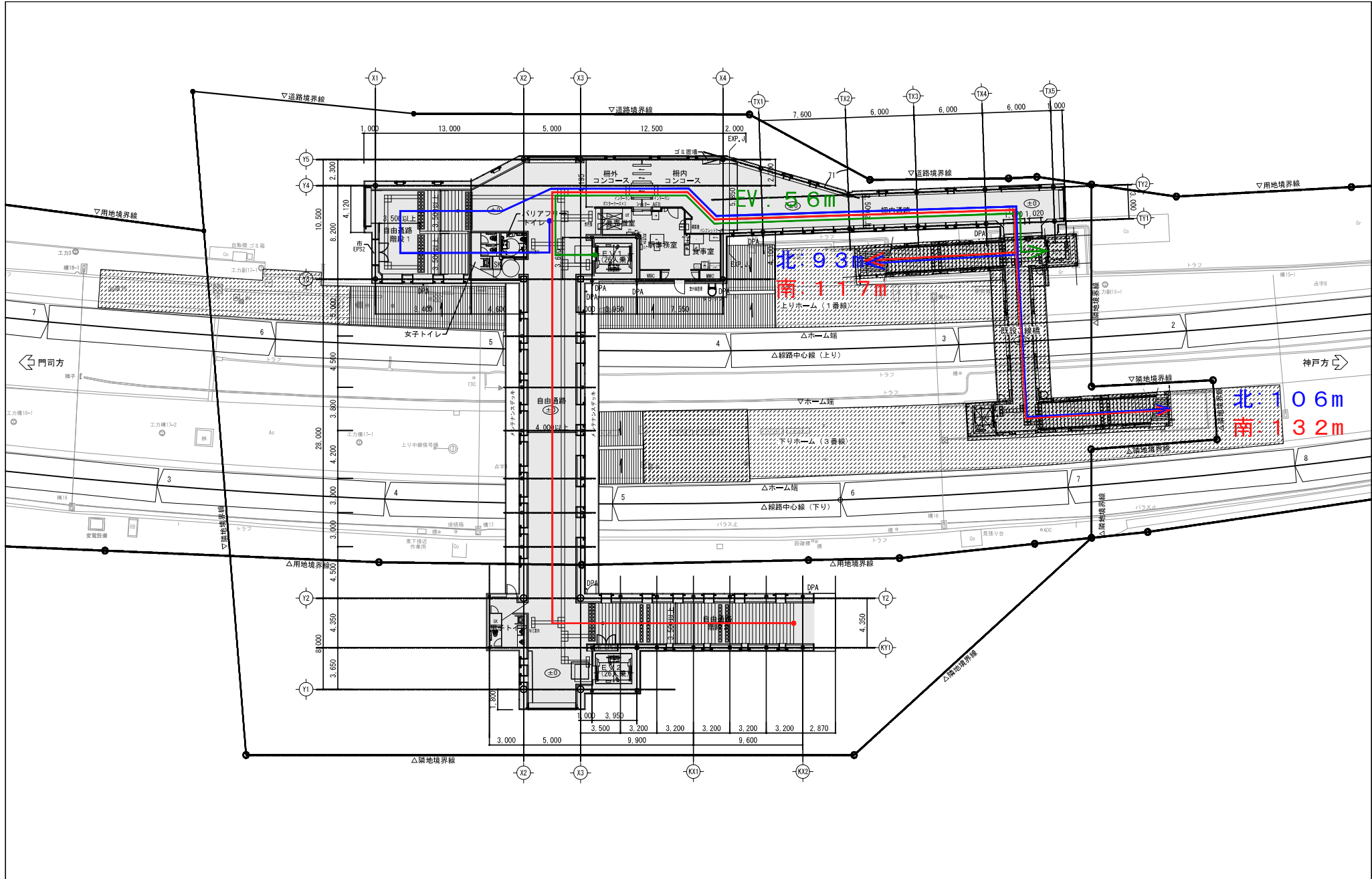
(取扱注意) 外観はイメージで最終形ではありません

【北東 鳥瞰】



【南 鳥瞰】





特 記							ジェイ・アール・西日本コンサルタンツ株式会社 一般社団法人 建設士会	工 事 名 JR管根駅自由通路等基本設計業務委託		・ ・			
								図 番 名	A-	NO			
								SCALE					
								図 番 名	A-	NO			

JR曾根駅周辺整備事業スケジュール（案）

	令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度			
自由通路及び橋上駅																				
用地買収																				
設計																				
仮駅																				
撤去・復旧																				
本体																				
周辺道路及び駅前広場																				
用地買収																				
整備工事																				

自由通路・橋上駅舎
供用開始予定

■ J R 曾根駅舎及び周辺整備に係る地元要望事項と整備方針について

1 地元要望事項

第 11 回 JR 曾根駅周辺整備推進委員意見交換会（平成 31 年 1 月 24 日）⇒北側駅前広場整備前

第 12 回 JR 曾根駅周辺整備推進委員意見交換会（令和元年 5 月 31 日）⇒北側駅前広場整備前

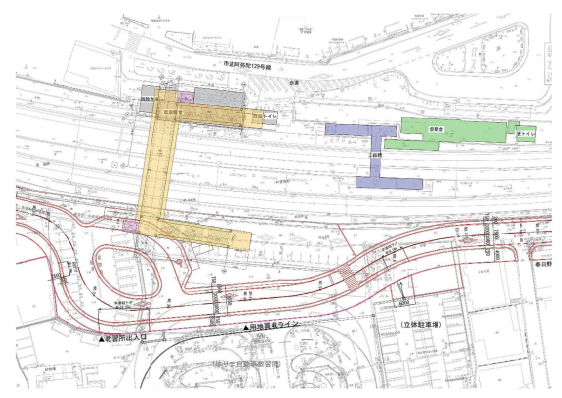
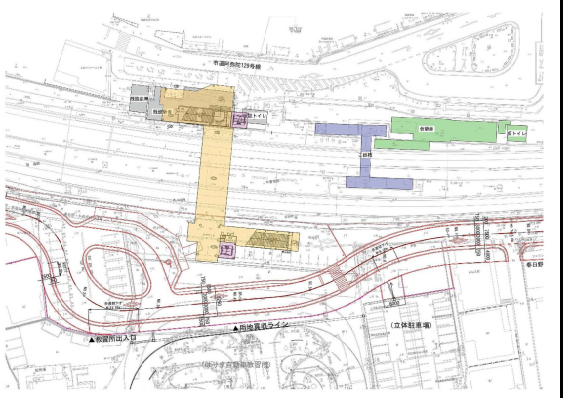
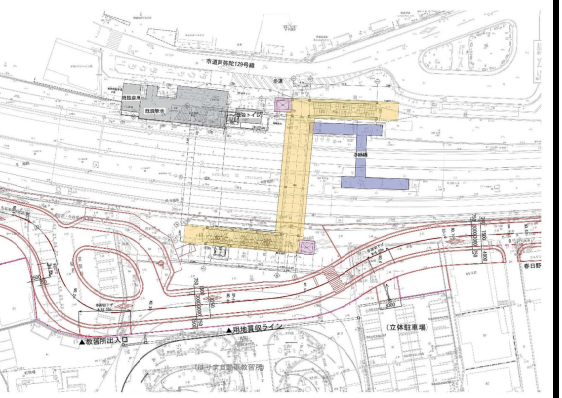
第 13 回 JR 曾根駅周辺整備推進委員意見交換会（令和 2 年 7 月 9 日）⇒北側駅前広場整備後

- 1) 北側道路（市道阿弥陀 129 号線及び魚橋・阿弥陀準幹線道路）
 - ・歩道（通学路）の整備
 - ・車道の拡幅
 - ・タクシー乗り場の移転
- 2) 駅南側からのアクセス向上及び道路拡幅（春日野・牛谷準幹線道路）

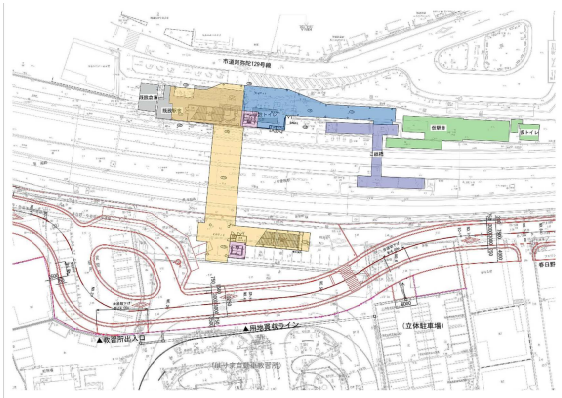
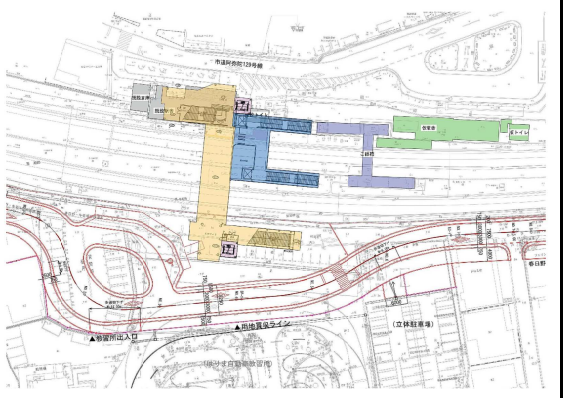
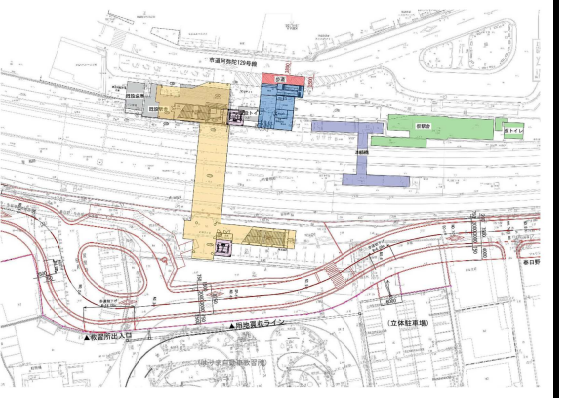
2 整備方針

番号	整備箇所	整備方針
1	自由通路について	高砂市が所有、管理する道路（市道認定）となるため、市が決定、整備を行います。
2	駅舎及び連絡通路（柵内通路）について	JR 西日本が所有、管理する施設となるため、JR 西日本が決定、整備を行います。
3	既設跨線橋及びエレベーターについて	建設費の 3 分の 2 は税金を財源としているため、できるだけ長期にわたり使用したいと考えています。 【平成 23 年 3 月より供用開始（建設費：約 2.2 億円）】

JR曾根駅 自由通路 計画案比較表

	A 西側案		B 中央案		C 東側案	
配置図						
駅舎	△	既設駅舎の移設及び仮駅舎が必要	△	既設駅舎の移設及び仮駅舎が必要	○	既設駅舎は存置、仮駅舎が不要
南側駅前広場との調整	×	南側駅前広場にロータリーが設置できない	○	南側駅前広場にロータリーが設置できる	○	南側駅前広場にロータリーが設置できる
構造計画	○	自由通路の距離が短く、鉄道敷内に柱の設置が不要	○	自由通路の距離が短く、鉄道敷内に柱の設置が不要	×	自由通路の距離が長く、鉄道敷内に柱の設置が必要
評価	×	鉄道敷内に柱の設置は不要となるが、南側駅前広場にロータリーが設置できない。	○	鉄道敷内に柱の設置は不要で、南側駅前広場にロータリーが設置できる。	×	南側駅前広場にロータリーは設置できるが、鉄道敷内に柱の設置が必要となるため、施工できない。

JR曾根駅 新設駅舎 計画案比較表

	Ⅰ 案（現計画）		Ⅱ 案（宝殿駅タイプ）		Ⅲ 案（地平駅）	
配置図						
安全性	○	基準を満たしている （必要幅員）2.133m （採用幅員）2.500m	○	基準を満たしている	○	基準を満たしている
地元要望への対応	○	北側道路の拡幅ができる （車道、歩道）	○	北側道路の拡幅ができる （車道、歩道）	×	北側道路の拡幅ができない （車道、歩道）
利便性	（北側）	△ 動線が長く、Ⅱ 案より利便性に劣る	○	動線が短く、利便性に優れる	○	動線が短く、利便性に優れる
	（南側）	△ 動線が長く、Ⅱ 案より利便性に劣る	○	動線が短く、利便性に優れる	△	動線が長く、Ⅱ 案より利便性に劣る
施工性	○	線路外での作業のため制約が少なく、施工性に優れている	△	線路上空での作業のため制約が多く、施工性に劣り、工事期間も長くなる	○	線路外での作業のため制約が少なく、施工性に優れている
跨線橋	○	既設跨線橋を利用できる	△	既設跨線橋の撤去が必要	○	既設跨線橋を利用できる
経済性	○	安価（事業費約16.9億円）	×	最も高価（事業費約31.9億円）	○	最も安価（事業費約13.5億円）
評価	○	利便性においてⅡ 案より劣るが、北側道路への地元要望への対応も可能で、施工性等において最も優れている。	×	利便性は優れており、北側道路への地元要望への対応も可能だが、施工性、経済性において劣っている。	×	施工性等についてはⅠ 案と同様で、最も安価ではあるが、北側道路への地元要望への対応が不可である。

J R 曾根駅整備に関する地元説明会（R6.12.7） Q & A

番号	質問	回答
1	・比較表に一番大事な評価項目である安全性が入っていない。数値で示し、相対的に比較してほしい。 ・柵内通路と既設跨線橋の交差部、特に曲がり角が危ない。	・最も利用者人数が多い時間帯から必要幅員（2.133m）を算定しており、それ以上の幅員（2.5m）としております。 ・誘導サイン及びカーブミラー設置等の安全対策を講じます。また、継続して可能な限り安全の強化に向けて J R と協議、検討していきます。
2	・北側道路の確保のため、北側の用地買収は検討しなかったのか。 ・地平駅で道路拡幅に必要な範囲を買収したほうが安かったのではないか。検討しなかったのか。	・周辺住民の方への影響を最小とするために JR 用地を活用したので、新たに病院、コンビニ及び自転車預り所等を用地買収する必要はありませんでした。 ・費用だけではなく、この事業の目的の 1 つである駅北側に集中する駅送迎車両を分散し駅南側からの利便性の向上や、過去からの地元要望などにより判断しています。
3	鹿島中学校の生徒が自転車で自由通路を利用することになると危ないのではないか。	・自転車に乗って自由通路を通行することは禁止となり、鹿島中学校からは利用しない旨の回答をいただいています。
4	・24 時間利用できる自由通路及び公衆トイレの防犯対策は。 ・駅構内のトイレが無くなることについて周知がされていない。防犯対策ではなく、駅構内にトイレが無いことが問題。	・防犯カメラを設置します。 ・駅構内のトイレは撤去されます。それを受けまして、駅利用者や市民がトイレを利用できるように公衆トイレを設置することとしました。 ・今後の運用については関係機関と継続して協議を行います。
5	1 階にも改札を作って欲しい。	・改札は JR 施設となるため協議を続けていきましたが、J R は新たな施設の設置や駅員の配置等を必要としていないため市が費用を負担しても困難であると回答がありました。今後も継続して事業完了まで要望していきます。
6	市の対応の不備、瑕疵があり、手続き上非常に問題がある。	・確実な事業実施に向け関係機関等との交渉を慎重に進めた結果、情報周知が制限されていたため市民への周知等に課題があったことについては地元説明会や議会からも指摘を受けて反省すべき点として認識しています。 ・今後は地元説明会や工事日より、市のホームページ等を活用し、広く市民の方々への情報周知、市民理解の推進に努めています。

7	地平駅の面積は本当にこれだけ必要なのか。	・ J R施設のコンパクト化を目指しており、資料室、休憩室及び浴室等は設置せず、営業のための必要最小限の面積としています。												
8	・宝殿タイプの橋上駅にした場合、市の財政負担にどのような影響があるのか。 議案 3 案の事業費の内訳、起債の種類と充当率、交付税の算入率、実質の市負担額を教えてください。	<table><tr><td>50%</td><td>25%</td><td>20%</td><td>5%</td></tr><tr><td>国庫補助金</td><td>本来分 充当率50%</td><td>財対債分 充当率40% 交付税参入率 50%</td><td>一般財源 10%</td></tr></table> 実質の市負担額：6.8億円 (4.22億円 + 1.69億円 + 0.85億円) <table><tr><td>8.45億円</td><td>4.22億円</td><td>1.69億円 1.69億円</td><td>0.85億円</td></tr></table> ← 16.9億円 → ・橋上駅ができなかった理由としては、駅構内での作業も増え、工期が長くなり、最終的には橋上駅の費用が高すぎることで、今後控えている起債の償還等の財政的状況を考慮したこと、また5箇年で事業が完了するようにしたことによるものです。	50%	25%	20%	5%	国庫補助金	本来分 充当率50%	財対債分 充当率40% 交付税参入率 50%	一般財源 10%	8.45億円	4.22億円	1.69億円 1.69億円	0.85億円
50%	25%	20%	5%											
国庫補助金	本来分 充当率50%	財対債分 充当率40% 交付税参入率 50%	一般財源 10%											
8.45億円	4.22億円	1.69億円 1.69億円	0.85億円											



JR曾根駅周辺整備事業 工事だより

市役所都市創造部
☎443-9034

第1号(創刊号) 令和7年4月25日

「工事だより」では、これから、工事の様子等さまざまなニュースをお届けしていきます(不定期)。



念願の「南北からのアクセス」
JR曾根駅周辺整備事業 本格着工!!

高砂 JR曾根駅

検索

高砂市ホームページにも掲載中

高砂市では、長年の懸案事項でありましたJR曾根駅南側からのアクセスを実現するために令和6年6月18日にJR西日本と『自由通路等整備及び駅舎橋上化に関する基本協定』を締結しました。

自由通路と橋上駅等の整備により、駅を中心とした賑わいづくりを行い、地域を活性化し、人口増へのまちづくりを着実に進めてまいります。

令和10年度完成を目指して、本格的な建設工事に着手します！



今のJR曾根駅



北側パース



駅構内通路



自由通路及び橋上駅(2階改札口)



自由通路



※イメージパースは確定したものではなく今後の調整等により、変更になる可能性があります。

? 新しいJR曽根駅はどこが良くなるの？

その1 駅の南側からアクセスできる！

- 今までは東側の歩道橋や西側の金ヶ田踏切を通行していましたが、新しい駅では自由通路を整備するので移動時間が大幅短縮！
- 自由通路にはエレベーターも設置！
ご高齢の方や、お体の不自由な方も利用しやすい
バリアフリー化！



道路整備で北側駅前の駐車車両も減少！

その2 北も南も！周辺道路が安全に！

- 北側道路は4.5mから7.0m(+歩道)へ広がり、南側道路も5.0mから11.5mへ拡幅！
これからは車のすれ違いも安全に！



周辺道路が広くなることで、通学路の安全性も大幅アップ！！



完成までのスケジュール

	令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和10年度		
自由通路及び橋上駅															
用地買収															
設計			詳細設計												
仮駅					仮駅舎新設										
撤去・復旧					電気支障移転			既設駅舎撤去						仮駅舎撤去	
本体									自由通路・橋上駅舎新設						
周辺道路及び駅前広場															
用地買収															
整備工事															

※スケジュールは今後の調整等により、変更になる可能性があります。



〔令和7年3月撮影(工事前写真)〕

問い合わせ先

(発注者) 高砂市 都市創造部 道路公園課 ☎079(443)9034

✉ tact3820@city.takasago.lg.jp

気になることや、わからないことがあればこちらまでご連絡ください！！





JR曾根駅周辺整備事業 工事だより

市役所都市創造部
☎443-9034

第2号 令和7年5月25日

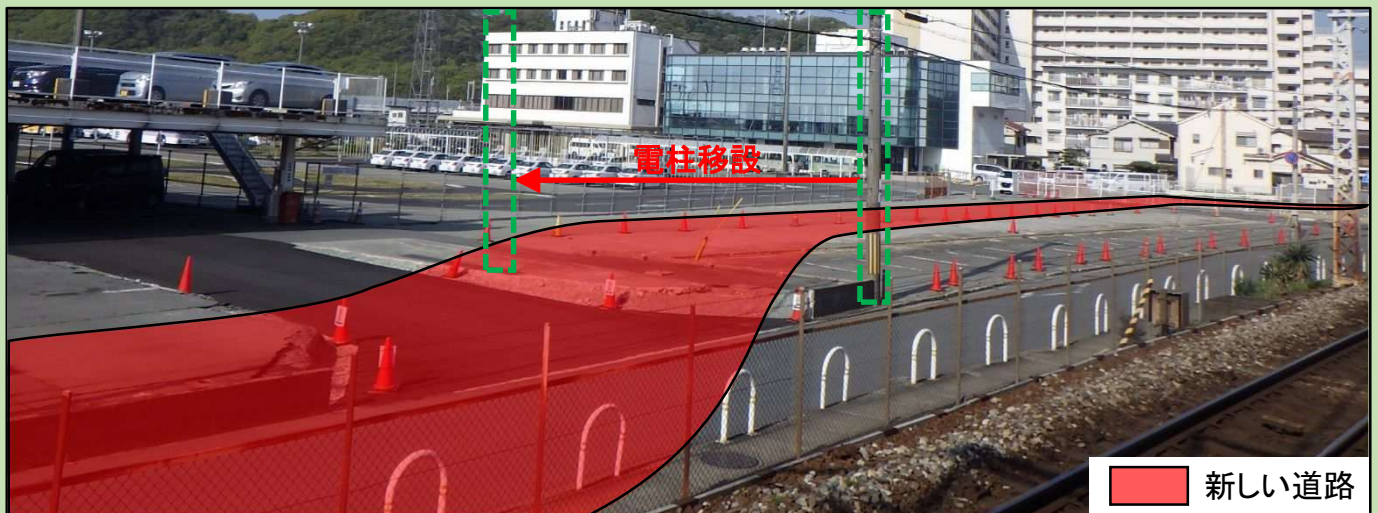
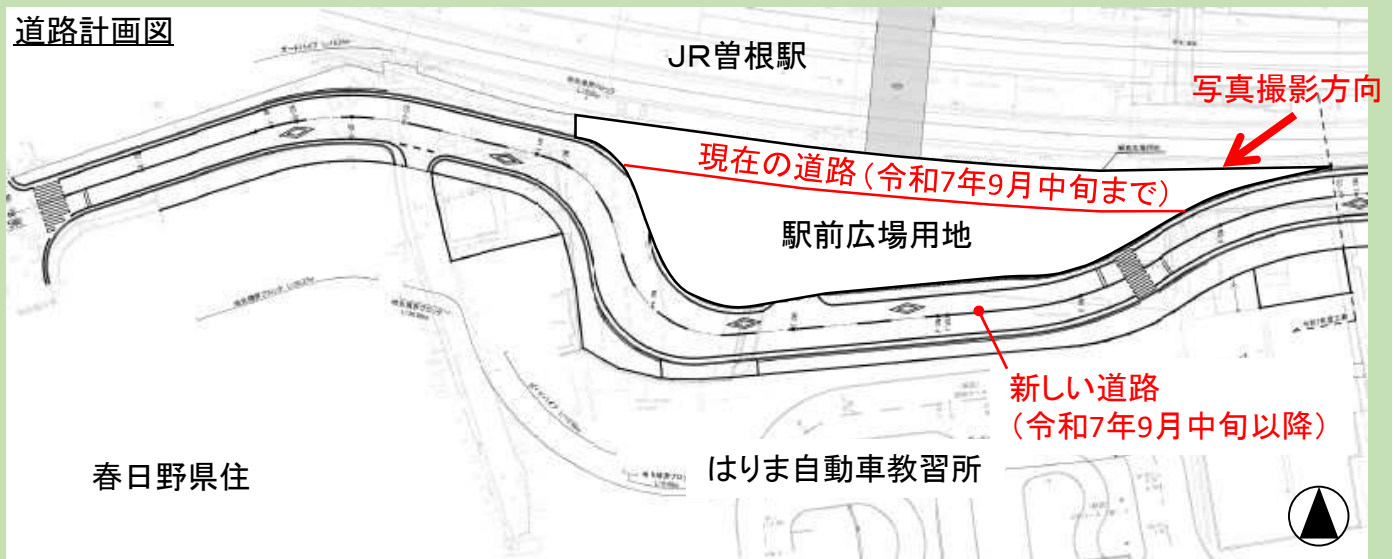
工事進捗 駅南側の道路工事が始まります。

JR曾根駅南側の線路沿いの道路の拡幅・歩道設置工事が6月から始まります。併せて、電柱や現在の道路の地面の下に埋められている水道管等を移設する工事も行われます。

段階的な工事を予定しており、今年度は、「春日野県住」北側の交差点から「はりま自動車教習所」の東側まで工事を行います。

道路の通行規制や夜間工事等、何かとご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いします。

道路計画図



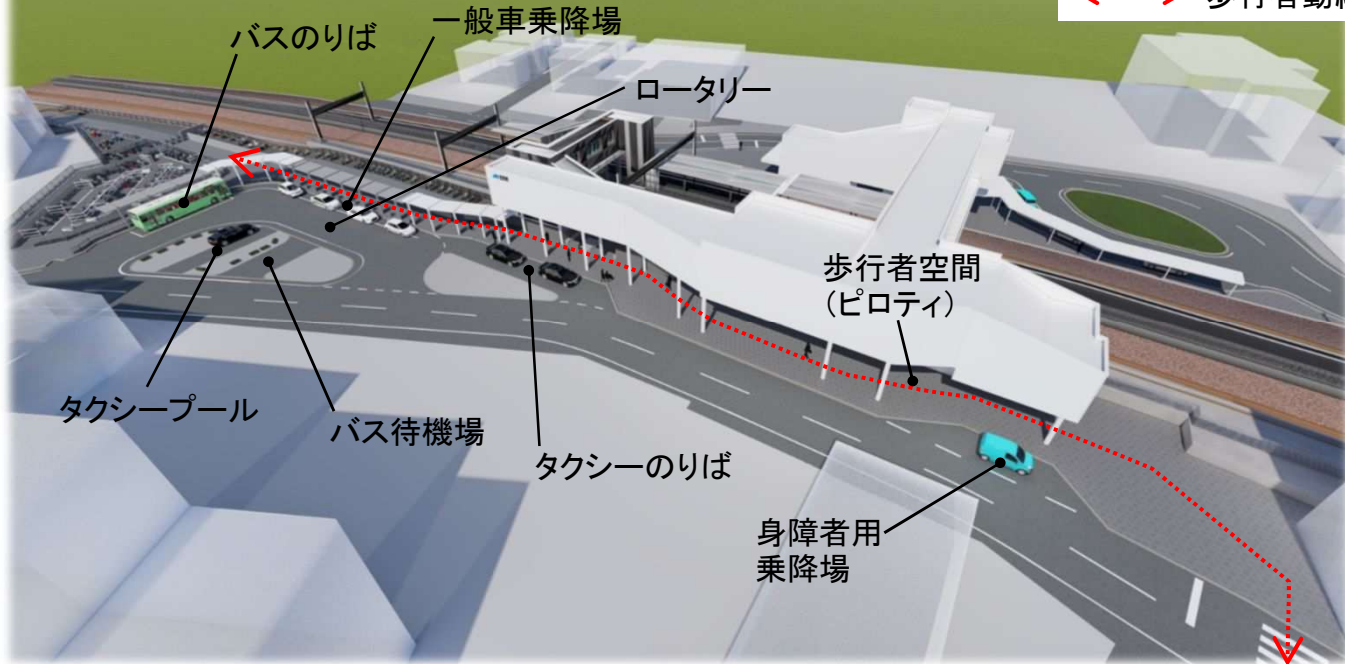
R7.4撮影



完成イメージ図 (令和10年度完成予定)

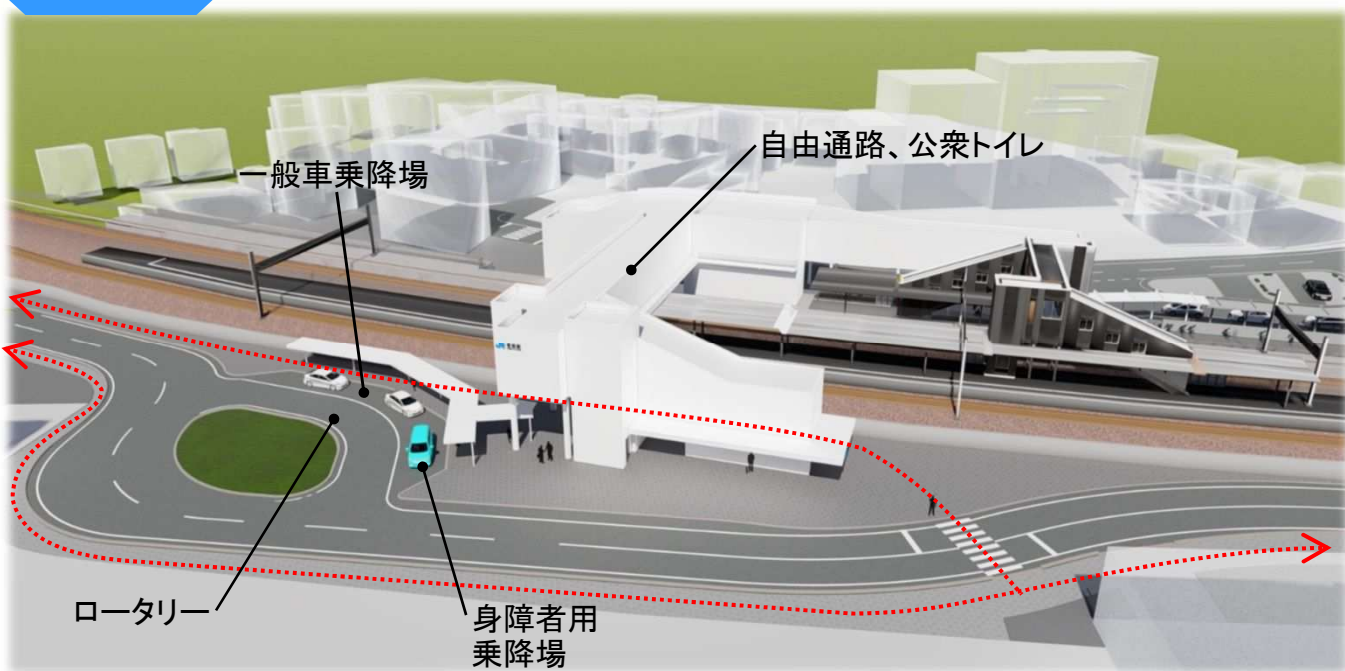
駅北側

歩行者動線



駅南側

※イメージパースは確定したものではなく今後の調整等により、変更になる可能性があります。



駅南側にロータリーを設置し、駅へのアクセス改善と駅北側ロータリーの混雑を緩和します。
自由通路には公衆トイレも設置し、駅利用者以外の方も利用できます。



問い合わせ先

(発注者) 高砂市 都市創造部 道路公園課
☎079(443)9034
✉tact3820@city.takasago.lg.jp

「工事だより」は
市ホームページにも掲載中

高砂 JR曾根駅 検索